TOSHIBA
Leading Innovation

dynabook ガイド
（取扱説明書）

dynabook

もくじ

はじめに 1

1章 あなたのパソコンについて 4

1 各部の名称 －外観図－ 4
2 バッテリーについて 8
3 Bluetoothマウスについて 10

2章 インターネット／困ったときは 13

1 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
－ウイルス・インターネットセキュリティー 13
2 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する 15
3 困ったときは －トラブルを解消するまでの流れ－ 16
4 Q&A集 17
5 パソコンの調子がおかしいときは 27
6 バックアップをとる（Windowsが起動しないとき） 28
7 パソコンを初期状態に戻す －リカバリー－ 33
8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする 42
9 捨てるとき／人に譲るとき 43
10 アプリケーションのお問い合わせ先 47
11 サービス&サポートのご案内 49
12 ご使用にあたってのお願い 56
リカバリーチェックシート 60

詳細は、『パソコンで見るマニュアル』で説明しています。

本書では、パソコンに用意されている機能の一部を簡単に説明しています。より詳しい説明や、本書で説明していない機能については『パソコンで見るマニュアル』で説明しています。『パソコンで見るマニュアル』は、次の手順で起動できます。

デスクトップ画面で［パソコンで見るマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリック

（表示例）

＊使用状況により、画面上の位置は異なります。

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠危 険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警 告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	参照先を示します。 ● 本書内への参照の場合…「　」 ● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『　』

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

3 用語について

本書に記載している各用語の定義については、『パソコンで見るマニュアル 準備編 本書をお読みになる前に - 2 用語について』を参照してください。

4 電源を切るには

本製品の電源を切るには、①［スタート］ボタン（ ）をクリックし、［電源］（ ）をクリック→②表示されたメニューから［シャットダウン］をクリックします。周辺機器の取り付け／取りはずし、BIOSセットアップの設定などを行う場合は、手順②で SHIFT キーを押しながら［シャットダウン］をクリックしてください。

参照 『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章 3 - 2 電源を切る』

5 Trademarks

- Microsoft、Windows及びWindowsロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。
  その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

6 お願い

- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
  パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。
  HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクなどは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクなどを交換します。
  それ以外のパスワードの場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
  またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- セキュリティロック・スロットがあるモデルの場合、本製品のセキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
  ウイルスチェックがまったく行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

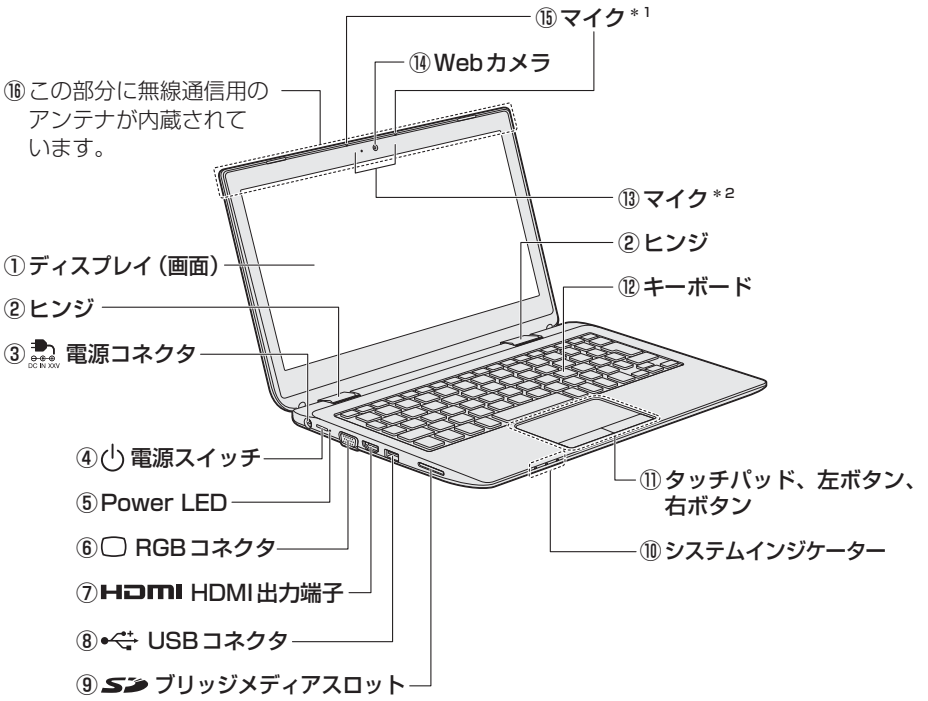
参照 お客様登録について
『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章 **9** お客様登録の手続き』

1 各部の名称 ー外観図ー

お願い 外観図について

- 本製品に表示されているコネクタ／LED／スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。ご購入のモデルの仕様については、『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

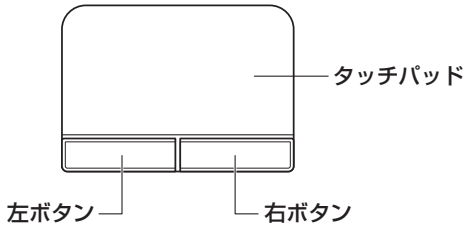
1 前面図



＊1 タッチパネル搭載モデルのみ。
＊2 タッチパネルを搭載していないモデルのみ。

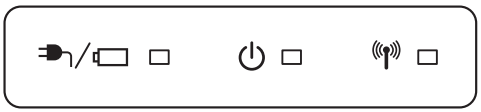
1 タッチパッド、左ボタン、右ボタン

前面図の⑪タッチパッド、左ボタン、右ボタンについて説明します。
パソコン本体には、「ポインター」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。



2 システムインジケーター

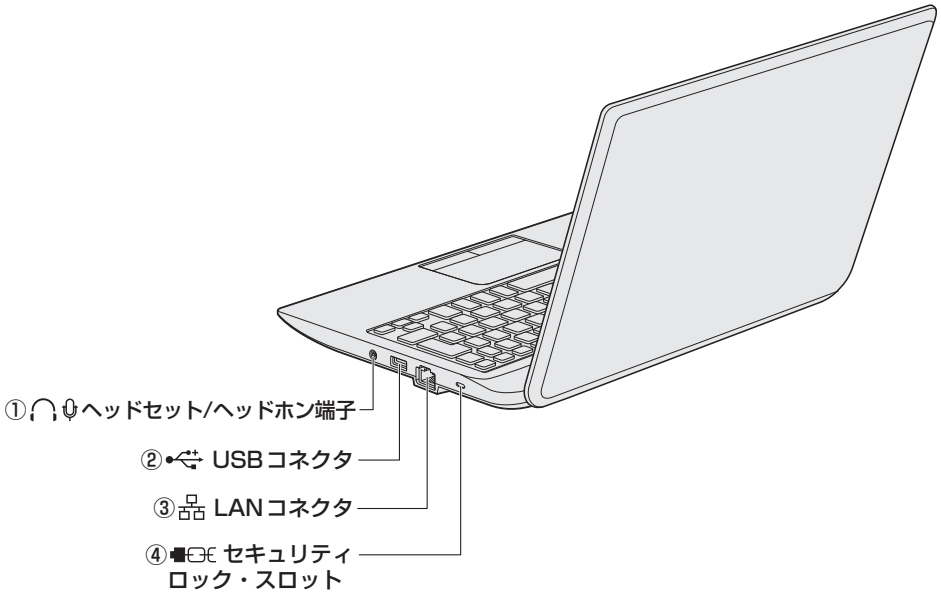
前面図の⑩システムインジケーターについて説明します。
システムインジケーターの点灯状態によって、パソコン本体の状態を知ることができます。



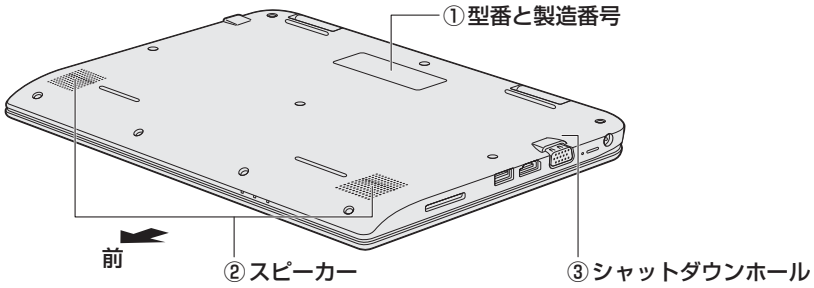
⇄/▭	DC IN/Battery LED	電源コードとACアダプターの接続の状態やバッテリーの状態 参照 「本章 2 - 1 - 1 システムインジケーターで確認する」
⏻	Power LED	電源の状態 参照 『スタートアップガイド』
(((•)))	ワイヤレスコミュニケーションLED	無線通信機能（無線LAN機能／Bluetooth機能*1）がON：点灯、OFF：消灯

＊1 Bluetooth機能搭載モデルのみ

2 背面図



3 裏面図



※バッテリーパックは本製品に内蔵されています。

⚠危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
  お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
  寿命などで交換する場合のお問い合わせ先は、「サービス＆サポートのご案内」を確認してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 お問い合わせ先「2章 11 サービス＆サポートのご案内」

⚠注意

- クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する
  先端のとがった部分でけがをするおそれがあります。

2 バッテリーについて

本製品には、バッテリーパックが内蔵されています。
本製品を初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してください。
バッテリーパックを充電すると、バッテリー駆動（電源コードとACアダプターを接続しない状態）で使うことができます。
バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめバッテリーパックの充電を完了（フル充電）させてください。
指定する方法・環境以外でバッテリーパックを使用した場合には、発熱、発火、破裂するなどの可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意をお願いします。
『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する
  お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
  寿命などで交換する場合のお問い合わせ先は、「サービス＆サポートのご案内」を確認してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 お問い合わせ先「2章 11 サービス＆サポートのご案内」

お願い バッテリーを使用するにあたって

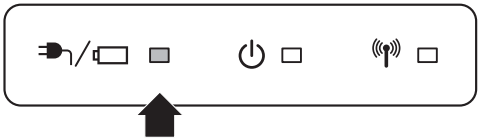
- あらかじめ、次の説明を確認してください。
  参照 「2章 12 - 5 バッテリーの使用／充電について」

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 システムインジケーターで確認する

電源コードとACアダプターを接続している場合、DC IN/Battery / LEDが点灯します。



DC IN/Battery / LEDは次の状態を示しています。

白色の点灯	充電完了
オレンジ色の点灯	充電中
オレンジ色の点滅	充電が必要
消灯	電源コードとACアダプターを接続していない 電源コードとACアダプターを接続しても消灯している場合は、バッテリー異常の可能性があります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

3 Bluetoothマウスについて

＊Bluetoothマウス付属モデルのみ

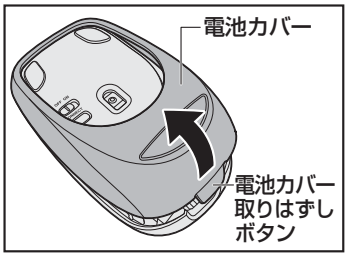
Bluetoothマウス（ケーブル無しマウス）は、Bluetooth通信でパソコンと接続して使用するマウスです。初めてBluetoothマウスを使用するときには、乾電池を取り付けてから電源を入れ、Bluetoothの設定をする必要があります。

参照 詳細について『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

1 Bluetoothマウスに乾電池をセットする

1 Bluetoothマウス裏側の電池カバーを開ける

Bluetoothマウス後部の電池カバー取りはずしボタンを押しながら、電池カバーを開けます。



2 乾電池をセットして、電池カバーを閉める

3 Bluetoothマウスの裏側にある電源スイッチをON側にスライドする

⚠注 意

- Bluetoothマウス底面の光学式センサー孔の赤色などの光を直接見ないでください。目を痛めるおそれがあります。

2 BluetoothマウスをBluetoothで接続する

Bluetoothマウスとパソコン本体をBluetooth通信で接続します。

⚠警 告

- **心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す**
  電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- **電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る**
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  - 無線通信機能は、FN＋F12キーを押してOFFにすることができます。FN＋F12キーを押して［機内モード オン］に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
  - スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  - 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能を設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

1 FN＋F12キーを押して、［機内モード オフ］にする

FNキーを押したままF12キーを押すたびに、無線通信機能のON／OFFが切り替わります。

機内モード オフ：無線通信機能ON
機内モード オン：無線通信機能OFF

無線通信機能をONにすると、ワイヤレスコミュニケーション LEDが点灯します。

2 ［スタート］ボタン（ ）をクリックし、スタートメニューを表示させる

3 ［設定］をクリックする

［設定］画面が表示されます。

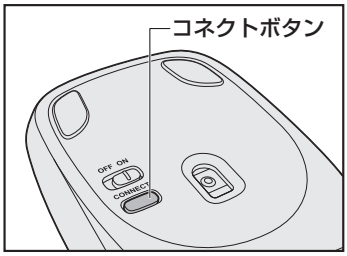
4 ［デバイス］をクリックする

［デバイス］画面が表示されます。

5 [Bluetooth]をクリックして、[Bluetooth]を［オン］に設定する

［オン］にすると、パソコン本体のBluetooth機能がONになります。

6 Bluetoothマウス（電源が入っている状態）をパソコンに近づけて、コネクトボタンを押す



コネクトボタンを押すと、Bluetoothマウスの表側にあるバッテリーLEDが青色に点滅します。

Bluetoothマウスが自動的に検出され、パソコンの画面に［Bluetooth Mouse　ペアリングの準備完了］が表示されます。

7 [Bluetooth Mouse　ペアリングの準備完了]をクリックし、表示された［ペアリング］をクリックする

Bluetoothマウスとパソコン本体のペアリング設定が開始され、終了すると［接続済み］と表示されます。これでBluetoothマウスが使用できるようになります。

参照 Bluetoothマウスの詳細について『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

メモ

- Bluetoothマウスを使用していて反応しなくなった場合は、省電力モードの設定を確認してください。
  省電力モードに設定されていると、マウスが数分で動作しなくなる場合があります。
  次の手順で設定を解除できます。
  ただし、設定を解除すると、設定している場合に比べて、マウスに使用している乾電池の消耗が早くなります。
  ①［スタート］ボタン（ ）をクリックし、スタートメニューを表示させる
  ②［すべてのアプリ］→［Windowsシステムツール］→［コントロールパネル］をクリックする
  ③［ハードウェアとサウンド］→［デバイスマネージャー］をクリックする
  ④［Bluetooth］をダブルクリックする
  ⑤Bluetoothのアダプターデバイスをダブルクリックして、プロパティ画面の［電源の管理］タブを表示する
  ［Bluetooth］の下にいくつかの項目が表示されている場合は、各項目をダブルクリックし、プロパティ画面に［電源の管理］タブが表示されたものについて、次の手順に進んでください。
  ⑥［電源の管理］タブで、［電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする］のチェックをはずす
  ⑦［OK］ボタンをクリックする
  それでもBluetoothマウスが反応しない場合は、別の原因が考えられます。『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編 2章 Q&A集』を参照してください。
- Bluetoothマウスがパソコン本体から離れ過ぎると、操作できない場合があります。
  Bluetoothマウスの仕様については『パソコンで見るマニュアル 準備編 付録』をご覧ください。

1 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
ーウイルス・インターネットセキュリティー

本製品に用意されているウイルス・インターネットセキュリティ用のアプリケーションを紹介します。

お願い 使用するにあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「本章 12 - 2 ウイルスチェック・セキュリティ対策について」

1 コンピューターウイルス対策

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスからパソコンを保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信する前に、ウイルスチェック機能があるソフトをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

本製品には、「ウイルスバスター」が用意されています。ウイルスの発見や駆除、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。

参照 ウイルスバスターについて「本節 3 ウイルスバスターによるウイルス対策」

2 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、いろいろな情報を見ることができて大変便利です。しかしその反面、インターネット上には次のような有害なものが存在します。

・コンピューターウイルス
　パソコンに侵入し、パソコン内に保存してあるデータを破壊するなどの悪さを行います。
・スパイウェア
　パソコンに侵入し、パソコン内の情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出します。
・有害サイト
　お子様に適さないサイトや、ウイルスに感染しているサイトなど、ユーザーに悪影響を与えるおそれがあるサイトです。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。

メモ

- 本製品にはユーザーの年齢やホームページのカテゴリによって表示するサイトを制限できる「i-フィルター6.0」が用意されています。

参照 「i-フィルター6.0」について「本章 2 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する」

3 ウイルスバスターによるウイルス対策

本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、90日間の使用期限がある体験版です。使用するには、インストールする必要があります。

メモ

- Windows セットアップで［使用許諾契約に同意しウイルスバスターの利用を開始します。］をチェックしている場合、自動的に「ウイルスバスター」がインストールされ、メールアドレスの入力画面が表示されます。メールアドレスをすでに持っている場合は入力し、［完了］ボタンをクリックしてください。メールアドレスは登録しなくても使用できます。

「ウイルスバスター」には、次のような機能があります。

- コンピューターウイルスを検出／除去する
- 迷惑メールや詐欺メールを判定して処理する
- 有害サイトへのアクセスを制限する
- フィッシング詐欺への対策をする
- スパイウェアを検出して処理する
- 個人情報の漏えいを防止する　など

詳しくは、ヘルプを確認してください。自動的にインストールされない場合は、『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章 インターネット、メール』を参照してインストールしてください。

ヘルプの起動

ヘルプを見るためには、インターネットに接続する必要があります。

1 通知領域の［ウイルスバスター］アイコン（ ）をダブルクリックする

＊通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をクリックしてください。

［ウイルスバスター クラウド］画面が表示されます。

2 ［ウイルスバスター クラウド］画面で［ヘルプ］ボタン（ ヘルプ ）をクリックする

（表示例）

［ヘルプとサポート］画面が表示されます。

参照 ウイルスバスターのお問い合わせ先について「本章 10 アプリケーションのお問い合わせ先」

2 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する

インターネットに接続すると、世界中のいろいろなホームページを見ることができます。ニュースを読む、買い物をする、調べ物をするなど便利な使いかたもできますが、なかには有害なホームページもあります。
有害なホームページへのアクセスを遮断する「i-フィルター6.0」を使用することをおすすめします。

1 i-フィルター6.0

本製品には、フィルタリング機能をもつアプリケーションとして「i-フィルター6.0」が用意されています。「i-フィルター6.0」は、ユーザーの年齢やホームページのカテゴリによってアクセスを制限し、有害なホームページは表示しないように設定することができます。

お願い **使用期限について**

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「本章 12 - 3 「i-フィルター6.0」について」

「i-フィルター6.0」の使いかたについては、『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章 インターネット、メール』をご確認ください。

3 困ったときは
ートラブルを解消するまでの流れー

STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」に同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

STEP2『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』から探す

『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』でも、さまざまなQ&Aについて説明しています。
①デスクトップ画面で［パソコンで見るマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリック→②［困ったときは編］をクリックしてください。

STEP3「困ったときは編」以外から探す

- **『パソコンで見るマニュアル』を検索してみる**
  ①デスクトップ画面で［パソコンで見るマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリック→②各編をクリック→③［他の操作］→［ページ内の検索］をクリックしてください。検索ウィンドウが表示されます。
- **「おたすけナビ」で探してみる**
  「おたすけナビ」を使うと、本製品に用意されているアプリケーションの中から、目的にあったアプリケーションを探し出すことができます。
  ①［スタート］ボタン（ ）をクリックし、スタートメニューを表示させる→②［すべてのアプリ］→［東芝おたすけナビ］をクリックしてください。ヘルプを起動するには、［おたすけナビ］画面で をクリックします。

STEP4 サポートのサイトで調べる

＊インターネットに接続している場合

- **東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」（http://dynabook.com/）**
  「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。
- **「あなたのdynabook.com」**
  「dynabook.com」の「サポート情報」にある「あなたのdynabook.com」には、ご利用のパソコンの「よくある質問 FAQ」、デバイスドライバーや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などが掲載されています。

STEP5 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- **パソコン本体のトラブルの場合**
  東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- **OSやアプリケーションのトラブルの場合**
  OSや各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。
  参照 お問い合わせ先『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』
- **周辺機器のトラブルの場合**
  参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

4 Q&A集

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『パソコンで見るマニュアル』の『困ったときは編』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『パソコンで見るマニュアル』も参照してください。

1 電源

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう。または電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する
  （他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックと取り換える*1

＊1 バッテリーパック搭載モデルのみ

参照 バッテリーについて「1章 あなたのパソコンについて」

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるまで待ってください。

また、パソコン本体に通風孔がある場合は、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

A パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプター、バッテリーパック*1、キーボード*2をすべて取りはずしてください。

①電源コードとACアダプターを取りはずす
　パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
②バッテリーパック*1、キーボード*2を取りはずす
　電源コードとACアダプター、バッテリーパック*1、キーボード*2を取りはずし、そのままの状態でしばらく放置してください。
③バッテリーパック*1、キーボード*2を取り付ける
④電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
⑤電源スイッチを押し、指をはなす
　確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

参照 電源コードとACアダプターの接続『スタートアップガイド』
参照 バッテリーパックの取り付け／取りはずしについて*1「1章 あなたのパソコンについて」
参照 キーボードの取りはずしについて*2「1章 あなたのパソコンについて」

＊1 バッテリーパック搭載モデルのみ
＊2 キーボード部分が取りはずせるモデルのみ

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスク以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

システムが入っている記録メディアと取り換えるか、またはドライブから記録メディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。
スタイルを変更できるモデルの場合、次の操作はノートPCスタイルにセットして行ってください。

参照 ノートPCスタイルのセット方法「1章 あなたのパソコンについて」

①電源スイッチを5秒以上押して電源を切る
②＜ノート型PCの場合＞
　電源スイッチを押し、すぐに F12 キーを数回押す
＜液晶一体型PCの場合＞
　F12 キーを押しながら、キーボードの表面または右側面の電源スイッチを押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENTER キーを押してください。
③表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクを示す項目）を ↑ ↓ キーで選択し、 ENTER キーを押す

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。＊1、＊2

次のいずれかの対処を行ってください。
- 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する
（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックと取り換える＊1

＊1 バッテリーパック搭載モデルのみ
＊2 バッテリーパック内蔵モデルのみ

参照 「1章 あなたのパソコンについて」

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッド、マウス、キーボードなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
ENTER キーを押すか、タッチパッド、マウスなどを動かすと表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDがオレンジ色に点灯、または白色／オレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 3 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッド、マウス、キーボードなどを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
ENTERキーを押すか、タッチパッド、マウスなどを動かすと表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、パソコンをスリープや休止状態から復帰したとき、本体ディスプレイに何も表示されない

A テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。

テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。パソコン画面が表示されていた場合は、『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』を参照して、本体ディスプレイに表示を切り替えてください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった

A テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイをメインディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。
テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

Q 画面に何も表示されない

＊画面Offボタンを搭載しているモデルのみ

A ディスプレイの電源がOFFになっている可能性があります。

画面Offボタンを押して、ディスプレイの電源をONにしてください。

3 システム／ハードディスク

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

参照 再起動『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 2章 Windowsの操作について』

タッチパッドやマウスなどで操作できない場合は、次の手順でキーボードを操作して再起動してください。

① CTRL＋ALT＋DEL キーを押す
② TAB キーを数回押して画面右下の［シャットダウン］（⏻）を選択し、ENTER キーを押す
③ 表示されたメニューから、↑ ↓ キーを押して［再起動］を選択し、ENTER キーを押す
再起動します。

A Windows起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 アンインストール
『パソコンで見るマニュアル アプリの活用編 4章 アプリケーションを追加／削除する』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属している説明書』

4 キーボード

Q ポインターが輪の形をしている間にキーを押しても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインターが輪の形（ ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q ワイヤレスキーボードを使用中に、画面右下の［キーボードバッテリー］アイコンが、［低下］、［切れ］、または［不明］に変わった

＊液晶一体型PCのワイヤレスキーボードのみ

＊バッテリーLEDがあるワイヤレスキーボードの場合は、これらのアイコンは表示されません。

参照 画面右下の［キーボードバッテリー］アイコンについて
『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

A ［低下］（ ）または［切れ］（ ）の場合、キーボードの電池の残量が少なくなっています。

乾電池を交換してください。

参照 『スタートアップガイド』、『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

A ［不明］（ ）の場合、キーボードの電池の残量に関する情報を取得できていません。

［キーボードバッテリー］アイコンの状態は、キーボードを使用したときに更新されます。
SHIFT キーを押してから、通知領域の［東芝キーボードインジケーター］アイコン（ ）をクリックして、［キーボードバッテリー］アイコンの状態を確認してください。
通知領域に［東芝キーボードインジケーター］アイコン（ ）が表示されていない場合は、 をクリックしてください。

Q ワイヤレスキーボードを使用中に、キーボードのバッテリーLEDが点滅した

＊液晶一体型PCのワイヤレスキーボードのみ

＊バッテリーLEDがあるキーボードのみ

A キーボードの電池の残量が少なくなっています。

乾電池を交換してください。

参照 『スタートアップガイド』、『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

Q ワイヤレスキーボードのキーを押しても反応がない

＊液晶一体型PCのワイヤレスキーボードのみ

A キーボードの電源が入っていない可能性があります。

キーボード裏面の電源スイッチをON側にしてください。

参照 キーボードの電源スイッチ「1章 あなたのパソコンについて」

A キーボードの電池の残量が少なくなっている可能性があります。

乾電池を交換してください。

参照 『スタートアップガイド』、『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

A パソコン本体とキーボード間の無線通信が切れている可能性があります。

パソコン本体とキーボード間の無線通信の再設定を行ってください。

参照 「1章 あなたのパソコンについて」

5 タッチパネル／マウス

＊タッチパネルは、タッチパネル搭載モデルのみ
＊マウスは、モデルによっては別売りです。

Q 画面にタッチしても反応しない

＊タッチパネル搭載モデルのみ

A システムが処理中の可能性があります。
システム処理中は、操作を受け付けない場合があります。操作によっては、システム処理中はポインターが輪の形（ ）になっています。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A つめの先では操作できません。
指で操作してください。

A 手袋を着けたままでは操作できません。
手袋をはずして操作してください。

A 指が汗や水でぬれている状態では操作できません。
水分をふき取ってから操作してください。

A 画面に異物が付着している可能性があります。
保護フィルムを貼っている場合は、フィルムをはがしてください。

Q 電源を入れたあと、タッチパネルが反応しない

＊タッチパネル搭載モデルのみ

A タッチパネルに触れたまま電源を入れると、タッチパネルが一時的に反応しない場合があります。
タッチパネルに触れないで、しばらく待ってからお使いください。

Q マウスのバッテリーLEDが点滅した

A マウスの電池の残量が少なくなっています。
乾電池を交換してください。
参照 液晶一体型PCの場合『スタートアップガイド』
参照『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

Q マウスをクリックしても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。
ポインターが輪の形（ ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A マウスの電源が入っていない可能性があります。
マウス裏面の電源スイッチをON側にしてください。

A マウスの電池の残量が少なくなっている可能性があります。
乾電池を交換してください。
参照 液晶一体型PCの場合『スタートアップガイド』
参照『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

＊液晶一体型PCのワイヤレスマウスのみ

A パソコン本体とマウス間の無線通信が切れている可能性があります。

パソコン本体とマウス間の無線通信の再設定を行ってください。

参照 液晶一体型PCの場合「1章 あなたのパソコンについて」

参照 『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

Q レーザー式マウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、鏡など）

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

Q 光学式マウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。

光学式マウスに対応したマウスパッドの使用を推奨します。光学式マウスに対応していないものやマウスパッドの模様によっては、正常に動作しない場合があります。

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

6 メッセージ

Q 起動時に「The firmware has detected that a CMOS battery failure occurred. <F1> continue, <F2> to setup.」、または起動時に「＊＊＊RTCバッテリーが消耗しています＊＊＊ [F2] キーを押して日付/時刻を調整してください。」と表示され、Windowsが起動しない

A 時計用電池がなくなりました。

時計用電池を交換する必要があります。

東芝PCあんしんサポートに相談してください。

Q 起動時に「*RTC battery is low*** Press ENTER to set Date/Time」または「**** Date and Time reset to default **** Press Enter to set Date and Time.」と表示され、Windowsが起動しない**

＊時計用バッテリー内蔵モデルの場合

A バッテリーが不足しています。

バッテリーは、電源コードとACアダプターを接続しているときに充電されます。

参照 時計用バッテリーについて
『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

電源コードとACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

① ENTERキーを押す
BIOSセットアップ画面が表示されます。
② ↑ ↓ ← →キーを使って、[System Time]を選択し、ENTERキーを押す
③ TABキーを使って、時間、分、秒を選択後、－ ＋キーで時刻を設定する
④ TABキーを使って、[Ok]([OK])を選択し、ENTERキーを押す
⑤ ↑ ↓ ← →キーを使って、[System Date]を選択し、ENTERキーを押す
⑥ TABキーを使って、月、日、年を選択後、－ ＋キーで日付を設定する
⑦ TABキーを使って、[Ok]([OK])を選択し、ENTERキーを押す
⑧ F10キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
⑨ Yキーを押す
設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。
パソコンが再起動します。

メッセージが表示されたまま1分以上経過すると、自動的に電源が切れます。

電源スイッチを押し、すぐにENTERキーを押して、BIOSセットアップを起動し、日付と時刻を設定してください。

充電してもしばらくすると内蔵時計が合わなくなる場合は、バッテリーの充電機能が低下している可能性があります。
東芝PCあんしんサポートに相談してください。

＊時計用電池内蔵モデルの場合

A 時計用電池がなくなりました。

時計用電池を交換する必要があります。
東芝PCあんしんサポートに相談してください。

Q 起動時に「RTC battery is low Check system. Then press [F2] key.」または「**** Date and Time reset to default **** Press [F2] key to set Date and Time.」と表示され、Windowsが起動しない

＊時計用バッテリー内蔵モデルの場合

A 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、電源コードとACアダプターを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリーについて
『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

電源コードとACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

① F2キーを押す
BIOSセットアップ画面が表示されます。
② ↑ ↓ ← →キーを使って、[System Time] を選択し、ENTERキーを押す
③ TABキーを使って、時間、分、秒を選択後、F6 (-)、F7 (+) キーで時刻を設定し、ENTERキーを押す
④ ↑ ↓ ← →キーを使って、[System Date] を選択し、ENTERキーを押す
⑤ TABキーを使って、月、日、年を選択後、F6 (-)、F7 (+) キーで日付を設定し、ENTERキーを押す
⑥ F10キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
⑦ Yキーを押す
設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。
パソコンが再起動します。

メッセージが表示されたまま1分以上経過すると、自動的に電源が切れます。
電源スイッチを押し、すぐにF2キーを押して、BIOSセットアップを起動し、日付と時刻を設定してください。

＊時計用電池内蔵モデルの場合

A 時計用電池がなくなりました。
時計用電池を交換する必要があります。
東芝PCあんしんサポートに相談してください。

Q「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。
Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。
参照 日付と時刻の設定について『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編 2章 Q&A集』

Q 次のようなメッセージが表示された

- **「Insert system disk in drive.Press any key when ready」**
- **「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」**
- **「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」**
- **「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」**
- **「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」**
- **「Cannot load DOS press key to retry」**
- **「Remove disks or other media.Press any key to restart」**
- **「NTLDR is missing Press any key to restart」**

A CD／DVDや、USBフラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。
上記の操作を行っても解決しない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A『使用しているシステムやアプリケーションに付属している説明書』を確認してください。

7 その他

Q ハードディスクからパソコンを初期状態に戻せなくなったときは

A ハードディスクに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンを初期状態に戻せなくなることがあります。

「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照 リカバリーの操作方法「本章 7 - 5 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて「本章 11 サービス＆サポートのご案内」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A「トラブルを解消するまでの流れ」のSTEP2へ進んでください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照「本章 3 困ったときは」

A パソコン本体のトラブルの場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 OSやアプリケーションのお問い合わせ先
『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

5 パソコンの調子がおかしいときは

パソコンの動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

次の方法を実行してみる

■ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。

参照 ウイルスチェックソフト「本章 1 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

■周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が原因の可能性があるため、それらを取りはずしてから、再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、パソコンの電源を切り、電源コードとACアダプター、バッテリーパック*1をいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

＊1 バッテリーパック搭載モデルのみ

参照 機器の取りはずし『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

■ほかのトラブル解消方法を探す

『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

メモ

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーの再インストールを行うことをおすすめします。

  参照 「本章 8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも改善しない場合

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）

個人データ、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などすべてを消去して、本製品を初期状態に戻します。大切なデータは、あらかじめバックアップしてください。

参照 「本章 6 バックアップをとる（Windowsが起動しないとき）」
「本章 7 パソコンを初期状態に戻す」
巻末の「リカバリーチェックシート」

6 バックアップをとる（Windowsが起動しないとき）

ここでは、Windowsが起動しない状態でのバックアップ方法について説明します。

■バックアップとは

保存したファイルやフォルダーを誤って削除してしまったり、パソコンのトラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

＊ドライブを搭載していないモデルでCD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。

参照 Windowsが起動するときのバックアップ方法
『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 2章 Windowsの操作について』

お願い バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

  参照 リカバリーについて「本章 7 パソコンを初期状態に戻す」

- ハードディスクや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
  ハードディスクや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

1 東芝ファイルレスキューについて

「東芝ファイルレスキュー」を使うと、Windowsが起動しなくても、データのバックアップ＝救助（レスキュー）をすることができます。
Windowsが起動せず、リカバリーをしなくてはならない場合などは、「東芝ファイルレスキュー」を使って、あらかじめデータを救助しておいてください。

お願い データを救助するにあたって

- パソコンを人に譲るときなどに、ハードディスクの内容をすべて消去すると、「システム回復オプション」は消去され、「東芝ファイルレスキュー」は使用できなくなります。
- TVチューナー搭載モデルの場合、デジタル放送の録画データは、救助、復元はできますが、再生できなくなります。
- 本ソフトウェアは、ハードディスク上のすべてのファイルの救助、復元を保証するものではありません。当社は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの使用によって生じたデータの損害についていっさいの責任を負わないものとします。
- ハードディスクが破損している場合、またはハードディスク上のファイルが破損している場合は、救助、復元することができません。
- 「東芝ファイルレスキュー」は、OSが起動しないときに、ハードディスク上のファイルを別の保存用記録メディアへ退避するためのものです。その他の用途では使用しないでください。
- データを救助するとき、データ保存用の記録メディアは、パソコンの電源を入れる前にセットしてください。電源を入れたあとにセットすると正しく認識されないことがあります。
- プログラムファイル、またはプログラム用のデータファイルを救助しても、復元後に正常に動作することを保証できません。
- 著作権保護、またはコピープロテクションによって保護されたファイルを救助しても、復元後に正常に動作することを保証できません。
- システム属性を持つファイル、および、暗号化されたファイルは救助できません。暗号化されたハードディスクからは、救助できません。これらの救助できないファイルは、救助対象を選択、または確認する一覧の中に表示されません。
- データを救助するときはすべてのユーザーのユーザーデータを一度に救助することができますが、データを復元するときは1回の復元実行によって1つのユーザーアカウント分のデータだけを復元します。復元したファイルは、復元処理を実行したユーザーアカウントの所有ファイルとなります。ファイルの所有者となるユーザーアカウントでサインインし、復元処理を実行してください。
- 復元実行中にスリープ／休止状態へ移行する操作を行わないでください。
- データ保存用の記録メディアとしてCD／DVDを使用するときは、データを確実に救助するために、新しい記録メディアを使用することをおすすめします。

データの救助用に使用できる記録メディア

「東芝ファイルレスキュー」では、記録メディアにデータを救助します。使用できる記録メディアは、次のとおりです。

- USB接続型などの外付けハードディスクドライブ（市販品）
- USBフラッシュメモリ
- CD／DVD
  （本製品のドライブ*1または外付けのCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）*2を使用）

＊1 ドライブ搭載モデルのみ
＊2 書き込み可能な市販品をご使用ください。ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

1 データを救助する

スタイルを変更できるモデルの場合、次の操作はノートPCスタイルにセットして行ってください。

参照 ノートPCスタイルのセット方法「1章 あなたのパソコンについて」

①電源コードとACアダプターを接続する

②液晶一体型PCの場合、マウスとキーボードの電源を入れる

③救助するデータの保存先となる記録メディアをパソコンにセットする

USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USB対応機器やCD／DVDを本製品にセットする場合
『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

参照 外付けのCD／DVD／ブルーレイディスクドライブの場合
『CD／DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』

④＜ノート型PCの場合＞

電源スイッチを押し、すぐに 0 （ゼロ）キー（かな入力の わ キー）を数回押す

＊ テンキー搭載モデルの場合でも、テンキーの 0 （ゼロ）キーからは実行できません。

＜液晶一体型PCの場合＞

キーボードの 0 （ゼロ）キー（かな入力の わ キー）を押しながら、キーボードの表面または右側面の電源スイッチを押し、製品ロゴが表示されたら指をはなす

＊ テンキーの 0 （ゼロ）キーからは実行できません。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENTER キーを押してください。

「HDDリカバリーをスタートします。」、または「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順⑤に進んでください。

［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

⑤「Yes」（「YES」）または「はい」を選択して、 ENTER キーを押す

［オプションの選択］画面が表示されます。

⑥［トラブルシューティング］を選択する

［トラブルシューティング］画面が表示されます。

⑦［TOSHIBA Maintenance Utility］を選択する

ツールの選択画面が表示されます。

⑧［TOSHIBA File Rescue］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

「東芝ファイルレスキュー」が起動します。

⑨「免責事項」と「使用上のご注意」を確認し、同意される場合は、［はい、同意します。］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

同意しないと、操作を先に進めることはできません。

⑩救助するデータを確認し、［次へ］ボタンをクリックする

- 何もしないで［次へ］ボタンをクリックすると、すべてのユーザーのユーザーデータを救助します。
  ユーザーデータとは、［PC］-ハードディスク（C:）-［ユーザー］内の各ユーザー名のフォルダーに保存されるファイルやフォルダーです。「ユーザー名」フォルダーにはアドレス帳やお気に入りなどのデータが保存されています。ユーザーデータの内容は、［救助データの一覧］で確認してください。
- 救助するファイルやフォルダーを、任意に指定したい場合は、「役立つ操作集」を参照してください。

役立つ操作集

「救助するファイルやフォルダーを任意に指定したい場合」

救助するファイルやフォルダーを任意に指定するには、次のように操作してください。
① 手順⑩で、［任意のファイルやフォルダーを手動で指定する］にチェックを付け、［次へ］ボタンをクリックする
② 救助したいファイルやフォルダーにチェックを付け、［次へ］ボタンをクリックする
以降は、手順⑪から操作してください。

救助するデータの大きさを計算している画面が表示される場合があります。
計算が完了すると、救助するデータの保存先を指定する画面が表示されます。

⑪救助データの保存先を指定し、［次へ］ボタンをクリックする

外付けハードディスクドライブまたはUSBフラッシュメモリの容量が足りない場合や、記録メディアを何もセットしていない場合などは、赤い字でメッセージが表示されます。
メッセージに従って、適切な記録メディアを選択してください。
救助データの確認画面が表示されます。

⑫救助するデータと保存先を確認し、［実行］ボタンをクリックする

データの救助を開始するメッセージが表示されます。

⑬［はい］ボタンをクリックする

データの救助の進捗状況を示す画面が表示されます。救助には、長時間かかることがあります。必ず電源コードとACアダプターを接続した状態でご利用ください。
救助中は保存先の記録メディアを取りはずさないでください。
データの救助が完了すると、完了画面が表示されます。

⑭必要に応じて［救助結果］ボタンや［復元手順］ボタンをクリックし、最後に［完了］ボタンをクリックする

- ［救助結果］ボタンをクリックすると、ファイル単位で救助の結果を表示します。
  このとき、ファイルが壊れているなどの理由で救助できなかったデータがあると、そのファイル名の左に赤い「×」が表示されます。
- ［復元手順］ボタンをクリックすると、救助データを復元する手順を表示します。

［完了］ボタンをクリックすると、電源が切れます。
引き続き、リカバリーを行う場合は「本章 7 パソコンを初期状態に戻す」を参照してください。
標準ユーザーのアカウントでデータを復元するときは管理者ユーザーの認証が必要になりますので、リカバリーをしたあとは、必ずWindowsセットアップでWindowsパスワードを設定してください。

参照 Windowsセットアップ『スタートアップガイド』

2 救助したデータを復元する

「東芝ファイルレスキュー」で救助したデータの復元方法は、次のとおりです。

①液晶一体型PCの場合、マウスとキーボードの電源を入れる

②パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

このとき、データを復元したいユーザーアカウントでサインインしてください。

③データを保存した記録メディアをパソコンにセットする

④タスクバーの［エクスプローラー］アイコン（ ）をクリックする

「エクスプローラー」が起動します。

⑤画面左側の［PC］をクリックし、記録メディアのドライブのアイコンをダブルクリックする

⑥「TFRescue」ファイルをダブルクリックする

標準ユーザーのアカウントで復元プログラムを実行するときは、管理者ユーザーの認証が必要です。

復元するファイルを選択する画面が表示された場合は、手順⑦に進んでください。

［ようこそ］画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。

⑦復元するファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックする

ファイルの名称は、「Tsal」のあとが、年号／月日／時分秒を示す数字となっています。これは、救助を行った日時ですので、よく確認して復元したいファイルを選択してください。

［ようこそ］画面が表示されます。

⑧「免責事項」と「使用上のご注意」を確認し、同意される場合は、［はい、同意します。］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

同意しないと、操作を先に進めることはできません。

復元データを指定する画面が表示された場合は手順⑨に進んでください。

復元データを確認する画面が表示された場合は手順⑩に進んでください。

⑨復元したいユーザーデータを選択し、［次へ］ボタンをクリックする

復元データの確認画面が表示されます。

⑩復元するデータを確認し、［実行］ボタンをクリックする

メッセージが表示されます。

⑪［はい］ボタンをクリックする

データ復元の進捗状況を示す画面が表示されます。

復元が完了すると、データ復元完了の画面が表示されます。

⑫必要に応じて［復元結果］ボタンをクリックし、最後に［完了］ボタンをクリックする

［復元結果］ボタンをクリックすると、ファイル単位で復元結果を表示します。

パソコンのハードディスク内のどこに復元されたかを確認することができます。

メモ　復元データ

- 復元データと同じファイルが復元先にある場合、復元データのファイル名の先頭に「_（アンダーバー）」が付きます。
- ユーザーデータ以外の任意のファイルやフォルダーを救助して復元した場合、次の場所に保存されます。

（例）・救助時にハードディスク（C:）に保存されていたデータ：

「C:¥ユーザー¥［ユーザー名のフォルダー］¥C」の中

7 パソコンを初期状態に戻す
ーリカバリーー

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。ハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*1
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

*1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。
リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード
『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 4章 セキュリティ』

1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる　など　参照 「本節 2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと」

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windowsセットアップまで行います）

初期状態に戻す　参照 「本節 3 いくつかある初期状態に戻す方法」「本節 4 ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す」「本節 5 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」

Windowsのセットアップ　参照 『スタートアップガイド』

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続　参照 『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章』『各機器に付属している説明書』

ウイルスチェックソフトの利用の開始　参照 『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章』

インターネットの設定　参照 『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章』

ウイルスチェックソフトのパターンファイルの更新　参照 ウイルスチェックソフトのヘルプ

Windows Update　参照 『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章』

東芝サービスステーションでソフトウェアのアップデート　参照 『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章』

メールの設定　参照 『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 3章』

アプリケーションのインストールと設定　参照 『アプリケーションに付属している説明書』

データの復元　参照 「本節 6 - 1 バックアップしておいたデータを復元する」

2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 本書（「dynabookガイド（取扱説明書）」）
- 巻末の「リカバリーチェックシート」をコピーしたもの
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）*1

＊1 ドライブを搭載していないモデルでDVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアを使用する場合、外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、ハードディスクに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊ドライブを搭載していないモデルでCD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

- ［ドキュメント］（または［マイ ドキュメント］）、［ピクチャー］（または［マイ ピクチャー］）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの［お気に入り］のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、ハードディスクをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。

参照 メール送受信データ、メールアドレス帳のバックアップについて
『メールソフトに付属している説明書』

参照 その他のデータのバックアップについて
『パソコンで見るマニュアル 基本操作／セキュリティ編 2章 Windowsの操作について』

■システムが起動しない場合

「東芝ファイルレスキュー」を使って、データのバックアップができる場合があります。

参照 「本章 6 - 1 東芝ファイルレスキューについて」

録画データをバックアップする

＊TVチューナー搭載モデルのみ

パソコンをリカバリーすると、本体のハードディスクや外付けのハードディスクドライブなどの記憶装置に録画した録画データは再生できなくなる場合があります。

あらかじめ「StationTV X for TOSHIBA」で、ダビング可能な記録メディアにコピー／移動（ムーブ）してください。

または、あらかじめ録画情報管理ツールを使い、外付けのハードディスクドライブなどに録画番組データを移動しておき、リカバリー後に復元してください。

参照 『パソコンで見るマニュアル テレビ編 1章 テレビを見る』

参照 録画情報管理ツールについて『「StationTV X for TOSHIBA」のヘルプ』の「録画番組の管理」

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。

また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。

参照 「Office」のライセンス認証について
『パソコンで見るマニュアル 準備編 本書をお読みになる前に』

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。

ONになっていない場合は、FN＋F12キーまたはFN＋F8キーを押して、［機内モード オフ］または［ワイヤレス オン］にしてください。

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

3 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- ハードディスクからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常はハードディスクからリカバリーをしてください。
リカバリーメディアからのリカバリーは、ハードディスクのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

メモ

- Windows 10の回復機能を使って、パソコンを初期状態に戻すには、①［スタート］ボタン（ ）をクリック→②［設定］→［更新とセキュリティ］→［回復］をクリックしてください。
  回復機能でリカバリーを実行すると、「TOSHIBA Recovery Media Creator」によるリカバリーメディアの作成ができなくなります。回復機能を実行する前に、「TOSHIBA Recovery Media Creator」でリカバリーメディアを作成してください。

4 ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。
スタイルを変更できるモデルの場合、次の操作はノートPCスタイルにセットして行ってください。

参照 ノートPCスタイルのセット方法「1章 あなたのパソコンについて」

メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- ［キャンセル］ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、［オプションの選択］画面が表示されるまで ボタンをクリックし、［PCの電源を切る］ボタンをクリックしてください。
  ボタンが表示されていない場合は、［キャンセル］ボタンが表示されるまで操作を進めてから［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

①データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「はじめに- 4 電源を切るには」

②電源コードとACアダプターを接続する

③＜ノート型PCの場合＞
電源スイッチを押し、すぐに0（ゼロ）キー（かな入力のわキー）を数回押す

＊ テンキー搭載モデルの場合でも、テンキーの0（ゼロ）キーからは実行できません。

＜液晶一体型PCの場合＞
マウスとキーボードの電源を入れる
キーボードの 0 （ゼロ）キー（かな入力の わ キー）を押しながら、キーボードの表面または右側面の電源スイッチを押し、製品ロゴが表示されたら指をはなす
＊ テンキーの 0 （ゼロ）キーからは実行できません。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENTER キーを押してください。
「HDDリカバリーをスタートします。」、または「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順④に進んでください。
［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

④**「Yes」（「YES」）または「はい」を選択して、 ENTER キーを押す**
［オプションの選択］画面が表示されます。

⑤**［トラブルシューティング］をクリックする**
［トラブルシューティング］画面が表示されます。

⑥**［このPCを初期状態に戻す］をクリックする**
「オプションを選んでください」と表示されます。

⑦**［すべて削除する］をクリックする**
ここで［個人用ファイルを保持する］をクリックすると、個人用ファイルを残し、一部のアプリケーションや設定などを消去します。
［すべて削除する］をクリックすると、［このPCを初期状態に戻す］画面が表示されます。

「PCにはドライブが複数あります。」と表示された場合は、手順⑧に進んでください。
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示された場合は、手順⑨に進んでください。

⑧**［Windowsがインストールされているドライブのみ］をクリックする**
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。

⑨**［ファイルの削除のみ行う］をクリックする**
「準備が完了しました。」と表示されます。

メモ

- ［ドライブを完全にクリーンアップする］を選択してもリカバリーは行えますが、５時間程度かかる場合があります。また、ハードディスクのデータはすべて消去されます。このため、通常は［ファイルの削除のみ行う］を選択することをおすすめします。

⑩**［初期状態に戻す］ボタンをクリックする**
画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

⑪**セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う**
参照 Windowsセットアップ『スタートアップガイド』

5 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。
リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアでリカバリーをする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』

＊ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

スタイルを変更できるモデルの場合、次の操作はノートPCスタイルにセットして行ってください。

参照 ノートPCスタイルのセット方法「1章 あなたのパソコンについて」

メモ

- 操作を中断したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

①電源コードとACアダプターを接続する

②液晶一体型PCの場合、マウスとキーボードの電源を入れる

③リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USBフラッシュメモリやDVD／ブルーレイディスクを本製品にセットする場合
『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

参照 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの場合
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』

④データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「はじめに- 4 電源を切るには」

⑤＜ノート型PCの場合＞

電源スイッチを押し、すぐにF12キーを数回押す

＜液晶一体型PCの場合＞

F12キーを押しながら、キーボードの表面または右側面の電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。

⑥ ↑ または ↓ キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は本製品のドライブ*1を示す項目（［ODD］など）または外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（［USB ODD］など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（［USB Memory］など）を選択し、ENTERキーを押してください。

＊1 ドライブ搭載モデルのみ

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

⑦［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑧画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

⑨［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 「本章 9 - 2 ハードディスクの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。
処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

⑩［次へ］ボタンをクリックする

処理が開始され、［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。
長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、［OK］ボタンをクリックしてください。
処理が完了すると、終了画面が表示されます。

⑪リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■DVD／ブルーレイディスクの場合
① ［終了］ボタンをクリックする
自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。
②リカバリーメディアを取り出す

■USBフラッシュメモリの場合
①USBフラッシュメモリを取りはずす
② ［終了］ボタンをクリックする

再び画面が切り替わります。
セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

⑫セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照 Windowsセットアップ『スタートアップガイド』

6 パソコンを初期状態に戻したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。
インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。
その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照 詳細について「本節 1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ」

メモ

- Office搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

  参照 「Office」のライセンス認証について
  『パソコンで見るマニュアル 準備編 本書をお読みになる前に』

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

  参照 「本章 8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

■［ドキュメント］、［お気に入り］のデータや、その他のファイルやフォルダーなど

バックアップをとったデータを復元してください。

参照 メール送受信データ、メールアドレス帳の復元について『メールソフトに付属している説明書』

「東芝ファイルレスキュー」など、アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。詳しくは、アプリケーションのヘルプを参照してください。

参照 東芝ファイルレスキューでのデータの復元「本章 6 - 1 - 2 救助したデータを復元する」

8 プレインストールのアプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。
同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

参照 アプリケーションの削除
『パソコンで見るマニュアル アプリの活用編 4章 アプリケーションを追加／削除する』

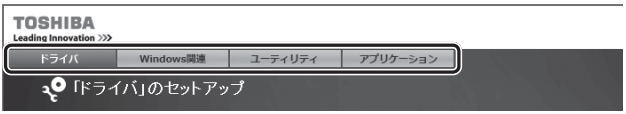
1 操作手順

①［スタート］ボタン（ ）をクリックし、スタートメニューを表示させる

②［すべてのアプリ］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

③［セットアップ画面へ］をクリックする
アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。

④タブをクリックして、再インストールしたいアプリケーションを探す



（表示例）

画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。アプリケーションをクリックすると、画面右側に説明が表示されますので、よくお読みください。

⑤画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の［「XXX」のセットアップ］をクリックする
「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をクリックしてください。

⑥表示されるメッセージに従ってインストールを行う
「XXXXX（ファイル名）をXXXXX（マシン名）から開きますか？」というメッセージが表示された場合は、［開く］ボタンをクリックしてください。

メモ

- ［アプリケーションの再インストール］にないアプリケーションは、Windowsストアからダウンロードできる場合があります。

9 捨てるとき／人に譲るとき

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、ハードディスクの内容を消去してください。
指紋センサー搭載モデルの場合は、登録した指紋データを消去することをおすすめします。指紋の消去は、「指紋認証ユーティリティ」の［指紋の管理］で行ってください。

1 お客様登録の削除について

● **ホームページから削除する**

東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

①インターネットで「http://toshibadirect.jp/room1048/」へ接続する
②ページ右の［ログイン］をクリックする
［ログイン］画面が表示されます。
③［東芝ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
マイページが表示されます。
④ページ右下の［退会］をクリックする

※退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※Room1048を退会されますと、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● **電話で削除する**

「東芝ID事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局（お客様情報変更）
TEL　：0570-09-1048（ナビダイヤル）
受付時間 ：10:00～17:00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。技術的なご相談や修理に関するお問い合わせ、またリサイクルに関しては「本章 11 サービス＆サポートのご案内」を確認してください。

2 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、ハードディスクに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

メモ

- Windows 10の回復機能を使って、ハードディスクの内容をすべて消去するには、①［スタート］ボタン（ ）をクリック→②［設定］→［更新とセキュリティ］→［回復］をクリックしてください。

操作手順

ハードディスクの内容を削除するには、ハードディスクの消去機能、または作成したリカバリーメディアを使用します。

お願い　パソコンを譲渡する場合には

- ハードディスクの内容を削除すると、ハードディスク内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム（OS）やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成
『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

■ハードディスクの消去機能から行う方法

スタイルを変更できるモデルの場合、次の操作はノートPCスタイルにセットして行ってください。

参照 ノートPCスタイルのセット方法「1章 あなたのパソコンについて」

①データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「はじめに- 4 電源を切るには」

②電源コードとACアダプターを接続する

③＜ノート型PCの場合＞

電源スイッチを押し、すぐに0（ゼロ）キー（かな入力のわキー）を数回押す

＊ テンキー搭載モデルの場合でも、テンキーの0（ゼロ）キーからは実行できません。

＜液晶一体型PCの場合＞

マウスとキーボードの電源を入れる

キーボードの0（ゼロ）キー（かな入力のわキー）を押しながら、キーボードの表面または右側面の電源スイッチを押し、製品ロゴが表示されたら指をはなす

＊ テンキーの0（ゼロ）キーからは実行できません。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。

「HDDリカバリーをスタートします。」、または「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順④に進んでください。

［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

④「Yes」（「YES」）または「はい」を選択して、ENTERキーを押す

［オプションの選択］画面が表示されます。

⑤［トラブルシューティング］をクリックする
［トラブルシューティング］画面が表示されます。

⑥［TOSHIBA Maintenance Utility］をクリックする
ツールの選択画面が表示されます。

⑦［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする
消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。
［データの消去を開始します。］画面が表示された場合は、手順⑨に進んでください。

⑧［標準データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする
モデルによっては［機密データの消去］項目も表示されますが、通常は［標準データの消去］を選択してください。［機密データの消去］は、より確実にデータを消去できますが、より時間がかかります。

［データの消去を開始します。］画面が表示されます。
処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

⑨［次へ］ボタンをクリックする
消去が実行されます。画面は、処理の経過に従い切り替わります。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。

⑩［終了］ボタンをクリックする

■リカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成
『パソコンで見るマニュアル 準備編 1章 初めて使用する前に』

外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアを使用する場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』

＊ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

スタイルを変更できるモデルの場合、次の操作はノートPCスタイルにセットして行ってください。

参照 ノートPCスタイルのセット方法「1章 あなたのパソコンについて」

①電源コードとACアダプターを接続する

②液晶一体型PCの場合、マウスとキーボードの電源を入れる

③リカバリーメディアをセットする
リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USBフラッシュメモリやDVD／ブルーレイディスクを本製品にセットする場合
『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 2章 各部の取り扱い』

参照 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの場合
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』

④データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「はじめに- 4 電源を切るには」

⑤＜ノート型PCの場合＞

電源スイッチを押し、すぐにF12キーを数回押す

＜液晶一体型PCの場合＞

F12キーを押しながら、キーボードの表面または右側面の電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力してENTERキーを押してください。

⑥↑または↓キーで起動ドライブを選択する

リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は本製品のドライブ*1を示す項目（［ODD］など）または外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（［USB ODD］など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（［USB Memory］など）を選択し、ENTERキーを押してください。

＊1 ドライブ搭載モデルのみ

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

⑦［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑧画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

以降は、「本節 2 -ハードディスクの消去機能から行う方法」の手順⑦以降を参照してください。

3 B-CASカードについて

＊TVチューナー搭載モデルのみ

パソコン本体を廃棄する場合、B-CASカードはB-CASカードスロットから取りはずし、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）にカードを返却してください。

参照 B-CASカードの取りはずし『パソコンで見るマニュアル テレビ編 1章 テレビを見る』

■B-CASカードの返却についてのお問い合わせ先

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）
カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

10 アプリケーションのお問い合わせ先

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は次のとおりです。

＊2015年7月現在の内容です。
各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

本書に記載している以外のアプリケーションのお問い合わせ先については、『パソコンで見るマニュアル お問い合わせ先編』を参照してください。
用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

■Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス
■Office Personal Premium プラス Office 365 サービス

上記 Office 製品を初めてご利用する際、インターネット接続環境および Microsoft アカウントでのサインインが必要になります。
Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。
事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポートWebサイトもご覧ください。

マイクロソフト Answer Desk 窓口

フリーダイヤル　：0120-54-2244
受付時間　　：月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～17:00
（祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く）
（日曜日はインストール サポートのみ）
サポート有効期間：サポートライフサイクル期間内
※サポートライフサイクルについては、
http://support.microsoft.com/lifecycle/search/ をご確認ください。

<サポートWebサイト>
Office 製品に関する情報やお問い合わせ情報などにつきましては、下記Webサイトもご確認ください。
下記アドレスをワン ボックス（アドレスバー）に直接入力いただければ、Webサイトにアクセスできます。

●Office 製品情報：
製品の機能や使い方などの製品情報
office.microsoft.com

●Microsoft アカウントについて：
Microsoft アカウントの登録方法や便利な使い方などについては下記のサイトをご覧ください。
microsoft.com/ja-jp/msaccount

●Office 365 サービス：
Office 365 サービスの詳細や更新の方法は下記のサイトをご確認ください。
office.com/service

●マイ アカウント ページ：
Office 365 サービスの管理や再インストールは、初回のインストール時に作成したマイ アカウント ページから行うことができます。マイ アカウント ページにアクセスするには、インストールの際に使用した Microsoft アカウントが必要になります。
office.com/myaccount

●サポート情報：
製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご確認ください。
office.com/jppipcsupport

■ウイルスバスター クラウド™ 90日版

ウイルスバスターサービスセンター

受付時間	：9:30～17:30
TEL	：0570-008326 03-6738-6062（IP電話・光電話からのお問い合わせ）
E-mail	：http://tmqa.jp/r924/
ホームページ	：http://tmqa.jp/toshiba/

■筆ぐるめ for TOSHIBA

筆ぐるめ　インフォメーションセンター

受付時間	：9:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・休業日を除く） 11月1日から12月30日までは無休 （受付時間9:30～17:00 12/30のみ12:00まで）
TEL	：0570-550-211（ナビダイヤル） 03-5638-6139（PHS、IP電話ご使用の場合）
E-mail	：users@fsi.co.jp
ホームページ	：http://fudegurume.jp/

11 サービス&サポートのご案内

東芝PCサポートページ　http://dynabook.com/assistpc/pg

＊2015年7月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

東芝サポートの窓口は、問い合わせたい内容や手段によって分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない	あんしんサポート	PCオンライン	FAQ	訪問サポート		
故障かどうか調べたい					PC工房	
夜間（18:00～24:00）に電話サポートを利用したい			サポート予約			
時間にとらわれず好きな時間に相談したい（24時間）		PCオンライン	FAQ			
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい	遠隔支援サービス		サポート予約			
インターネットで修理の申し込みをしたい			PC i-repair			PC i-repair
インターネットで修理状況を確認したい						
海外から修理を依頼したい	ILW		ILW			
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい			FAQ			
自宅に来てトラブルを解決してほしい				訪問サポート		
パソコンの調子が悪いので、パソコンを預けて点検してほしい	点検		点検			
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい				訪問サポート	PC工房	
パソコンの中からデータを救い出してほしい	データ復旧					
対面窓口で修理の相談をしたい（PC持ち込み）						
短期間で修理してほしい						
パソコンの設定を代わりにしてほしい	有料サポート		有料サポート	訪問サポート		
マンツーマンでレッスンを受けたい						

困ったときのご相談	手段					
	電話	メール	Web	訪問	対面	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談						
お客様登録をしたい		Room1048				
取扱説明書を購入したい			取扱説明書			
電源コードを購入したい			購入窓口		PC工房	
ACアダプターを購入したい						
メモリを購入したい*1						
バッテリーパック搭載モデルの場合、バッテリーパックを購入したい*2						
バッテリーパック内蔵モデルの場合、バッテリーパックの交換を依頼したい*2	バッテリーパック交換*3					
保証期間を延長したい			有料サポート		PC工房	
使用済みパソコンの回収・リサイクルのご相談						
不要になったパソコンを廃棄したい（個人）	リサイクル個人		リサイクル個人			
不要になったパソコンを廃棄したい（企業）	リサイクル企業					

＊1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかったり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。

参照 『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 1章 パソコンの準備』の「各部の名称」の「お願い」

＊2 充電機能が低下した場合の対処方法は、モデルによって異なります。
ご使用のモデルについては、『dynabook＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

＊3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■お電話でのスムーズな問い合わせのコツ

1.ご使用のPCの型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、画面に表示される「東芝PCシステム情報」、または本体底面／背面などの表示でご確認いただけます。
「東芝PCシステム情報」は、次の方法で起動できます。
【タブレットモードがOFFの場合】
①［スタート］ボタン（ ）をクリック→②［すべてのアプリ］→［TOSHIBA］→［PCヘルスモニタ］をクリック→③画面左側の［PCシステム情報］をクリックする。
【タブレットモードがONの場合】
①スタートメニューの左上の をクリック→②［すべてのアプリ］→［TOSHIBA］→［PCヘルスモニタ］をクリック→③画面左側の［PCシステム情報］をクリックする。
2.どのような症状が起こりましたか？ エラーメッセージなどは表示されましたか？
3.その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？

4. 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。
5. 事前にお客様登録 Room1048 （http://dynabook.com/assistpc/pg/room1048）をおすすめします。

■各問い合わせ先について ＊電話・FAX番号のお間違いにご注意ください。

あんしんサポート 東芝PCあんしんサポート

［固定電話から］0120-97-1048（フリーダイヤル：通話料・電話サポート料無料）
［携帯電話から］0570-66-6773（ナビダイヤル：通話料お客様負担・電話サポート料無料）
国内仕様PC・タブレットなどの使いかた・購入前相談・修理のご依頼受け付けです。
受付時間　使いかた相談：9:00-19:00（年中無休）、修理相談：9:00-19:00（12/31-1/3除く）
購入後1週間以内の不具合・不足品相談：10:00-18:00（12/31-1/3除く）
海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担・電話サポート料無料）

サポート予約 電話サポート予約サービス

http://dynabook.com/assistpc/pg/cb.htm
お客様がホームページからご予約された時間帯（18:00～24:00）に、東芝PCあんしんサポート担当者からお電話を差し上げて質問にお答えするサービスです。

遠隔支援サービス 遠隔支援サービス

http://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm
電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたのPC画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。

PC i-repair 東芝PC集中修理センタ

http://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm
個人・家庭で国内仕様パソコンの修理相談サービスです。集配・梱包料金無料。
自己診断Q&A　本当に故障かわからないとき
http://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm
インターネットからの修理のお申し込み
http://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm
修理状況の確認（携帯からアクセス可能）
http://pcrepair.jp

修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。
＊携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■ 企業のお客様のパソコン（国内仕様）修理依頼は

東芝情報機器株式会社
http://www.toshiba-tie.co.jp/support/repair/
電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）
※フリーダイヤルがご利用できない場合は 03-5144-3816（有料）
受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）
FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

ILWサポートセンタ（海外保証・制限付）

http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm

ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎたパソコンについては、有料修理サービスがございます。

ホームページからの修理申し込み：http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm

電話番号：海外から 81-43-303-1062／国内から 043-303-1062（通話料お客様負担）

FAX：海外から 81-43-303-1068／国内から 043-303-1068（通話料お客様負担）

受付時間（日本時間）：10:00～19:00（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

（中国は、現地修理サービス。その他地域は、日本への引き取り修理サービス）

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、中国、台湾、香港　※準州などを除く

東芝PC工房

お持ち込みでの直接診断や修理のご依頼、保証期間の延長のお申し込みはこちらへ。

また、ご予約いただき1日で修理を行うサービス「1Day・プレミアム・リペア・サービス」もこちらへ。

※修理は国内モデルのみ受け付けます。

※故障内容によっては、対応できない場合があります。

http://dynabook.com/assistpc/pg/pk.htm

電話番号：03-3252-6274（通話料お客様負担）

電話受付：10:00～12:00 13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-7-7 ソフト99ビル2F

営業時間：10:00～18:30

電源コードやACアダプターなどの付属品の購入、取扱説明書の購入窓口

http://dynabook.com/assistpc/pg/ac.htm

東芝PC本体に同梱している説明書（マニュアル）の一部を別売りしております。

http://dynabook.com/assistpc/pg/mn.htm

「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答

http://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm

Web（インターネット）を使ってご相談

http://dynabook.com/assistpc/pg/web.htm

リサイクル個人 **PCリサイクルのご相談（個人）**

●PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、東芝での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。
個人・家庭からの使用済み東芝パソコンを廃棄するときは、東芝dynabookリサイクルセンタへお申し込みください。なお、お申し込み時には排出されるパソコンの型番、製造番号をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。

<PCリサイクルマーク>

回収申し込み・お問い合わせ先：東芝dynabookリサイクルセンタ
http://dynabook.com/assistpc/pg/reh.htm
電話番号：043-303-0200
受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX：043-303-0202
出荷時に添付されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンターほか）、マニュアル、CD-ROM媒体は対象外です。

回収・再資源化対象機器
対象（東芝製）：ノートパソコン本体／デスクトップパソコン本体／ブラウン管（CRT）ディスプレイ／液晶ディスプレイ／ディスプレイ一体型パソコン

●PCリサイクルマークがない場合

「PCリサイクルマーク」のない製品は、PCリサイクル対象に該当しません。お客様がお住まいの各自治体の処理に従い、適切に廃棄をお願いします。なお、自治体によっては、廃棄費用をご負担いただく場合があります。

リサイクル企業 **PCリサイクルのご相談（企業） 東芝IT機器リサイクルセンター**

電話番号：045-440-6433
受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX：045-453-2472（24時間受付）
●事業系（企業・法人）の使用済みパソコン　回収・リサイクルのホームページ
http://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm

点検 **あんしん点検（有料）の申し込み**

http://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm
PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃やウイルスに感染していないか点検を行います。

有料サポート **有料のPC遠隔レッスンサービス／PC遠隔代行サービス／東芝PC延長保証サービス**

http://dynabook.com/assistpc/pg/pay.htm
・PC遠隔レッスンサービス
　個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。

・PC遠隔代行サービス
　周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。
・東芝PC延長保証サービス

データ復旧 データ復旧サービスのご案内

http://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm
突然起きるハードディスク故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

データ復旧サービス
論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。
※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

東芝情報機器株式会社
【個人のお客様】
電話番号：03-3252-7081（通話料お客様負担）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

【企業のお客様】
電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）
※フリーダイヤルがご利用できない場合は 03-5144-3816（有料）
受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）
FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

訪問サポート 東芝PC訪問サポート（有料）＊個人のお客様向け

http://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm
訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、パソコンの接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社
電話番号：0120-1048-49／受付時間：9:00～21:00（年中無休）
キューアンドエー株式会社
電話番号：0120-577876／受付時間：10:00～19:00（年中無休）

バッテリーパック交換 バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。
●バッテリーパック交換（個人）
　東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
●バッテリーパック交換（企業）
　営業担当にご連絡ください。

ILW制限事項・注意事項（2015年7月現在）

最新版はホームページに記載しております。
http://dynabook.com/assistpc/ilw/ilw3.htm

■制限事項

1. 対象地域により、サービス形態（日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービス）が異なります。
2. 本製品は日本国内モデルであり、世界各地で販売されている海外モデルとは仕様に相違があるため、海外現地の東芝関連会社ではお取り扱いしておりません。
3. 対象地域はILW対象地域をご覧ください。記載地域以外は、ILW対象外です。対象地域は各地域の通関事情などにより、事前の告知なく変更となる場合があります。
4. 現地では日本語でのご対応はできません。その現地の言語での対応となります。
5. ILWは、本体の修理に限ります。オプション機器、周辺機器、消耗品（バッテリーパック等）、付属品（電源コード等）、リカバリメディア、サービス部品、操作説明書等の提供および販売は、ILW対象外です。
6. ソフトウェアおよび技術サポートのご相談は受け付けておりません。ご相談の場合は、東芝ＰＣあんしんサポート（海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「使い方・設定など技術的な相談窓口」へご連絡ください。通信費はお客様負担となります。
7. プレインストールソフトウェアのリカバリサービスは保証期間内でも有料扱いとなります。リカバリサービスをお申込みの場合、パソコンの往復輸送費とリカバリサービス代金はお客様負担となります。
8. 海外でご使用になれない機能（TVの視聴・録画に関する機能、広域無線通信［ワイヤレスWAN］機能など）は、ILW対象外となります。
9. お持ちの機種、修理部品、対応地域によっては、各地域の通関事情等により、修理完了までに時間がかかる場合があります。
   また、法律により、輸出入が規制されている部品・役務等があります。規制に該当する場合は、ILW対象外となります。（例：TVチューナーは韓国で輸入が規制されています。2015年7月現在）
10. 各地域の通関事情により、現地通関事務局から指定された書類を求められる場合があります。その場合は、お客様ご自身による対応が必要となります。
11. 中国での現地修理サービスでは、修理パソコンのピックアップサービスや出張サービスは行っておりません。お客様自身による現地修理会社へのお持ち込み、又は各輸送会社拠点へのお持ち込みとなります。
12. お客様の過失により機器が故障した場合、火災・自然災害（落雷/水害等）により故障した場合等は、ILW対象外です。日本国内で有効な「保証書」に記載の無料修理規定に則り、有料修理となります。
13. ILW対象外の修理については、地域によっては有料で、日本への引き取り修理サービスまたは現地修理サービスをご利用いただけます。有料修理の場合、パソコンの往復輸送費等はお客様のご負担となります。
    なお、有料修理は、保守部品（補修用性能部品）の保有期間内のILW対象機種とさせていただきます。
14. ILW対象地域外の場合、日本国内での修理となります。その場合は、お客様ご自身で輸出入手続きの上、日本国内のご家族または知人を介して、東芝PCあんしんサポート（0120-97-1048 ※海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「修理に関するご相談窓口」へ修理依頼をお願いします。修理完了後の返却は、日本国内のみとさせていただきます。通信費はお客様負担となります。
15. 記憶装置に記憶された内容は、故障や障害およびその他の原因にかかわらず、その損失損害については、いっさいその責任を負いません。修理をご依頼される際は、お客様ご自身で事前にデータのバックアップを行ってください。パソコンをお預かりした時点で、データは全てバックアップされたものと判断させていただきます。記憶装置が故障した場合等、インストールされているソフトウェアやお客様のデータは、消去されます。
    また、近年、盗難が多発しておりますので、パソコンを輸送する際は、発送する前にハードウェアパスワード等により、セキュリティの強化をしてください。輸送の際の盗難等にともなうパソコン内のデータ等に関する責任は、当社ではいっさい、負うことはできませんので、ご注意ください。

■注意事項

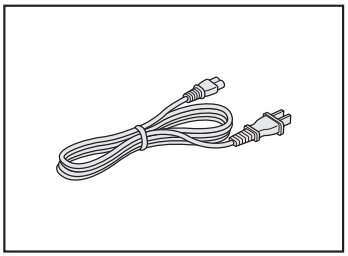
1. ILWは当社製品の海外への輸出や持ち出しを保証するものではありません。海外へ輸出や持ち出しをする場合、「外国為替及び外国貿易法」や米国輸出規制を遵守する必要がありますので、ご注意願います。輸出国（お持ち込みになる国）によっては、米国輸出規制に従った輸出許可が必要です。このような場合は、お客様の責任に基づき、お客様自身で所定の手続きをしてください。手続きについては、税関等へお問い合わせください。
2. 当社製品は、世界各国の規格を取得していないことから、お持ち込みのできない場合があります。製品の持ち出しおよびお持ち込みは、お客様の責任で行ってください。
3. 地域によっては、パソコン使用時、周辺の環境（他電子機器から出される電波、お使いのコンセント電圧、インフラ設備等）の影響を受ける場合があります。
4. 電源コードは国内専用です。海外でパソコンを使用するときは、使用する国や地域の安全規格等に適合したケーブルを当該国でお買い求めになるなどして、お使いください。

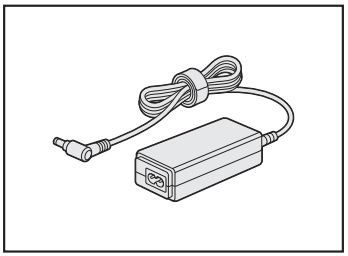
12 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。
搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。
ご購入のモデルの仕様については、『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

1 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。





電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。
モデルによっては、電源コードやACアダプターのプラグが異なったり、電源コードにアース線が付属している場合もあります。

2 ウイルスチェック・セキュリティ対策について

- 本製品に用意されている「ウイルスバスター」は90日間の使用期限があります。必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをご使用になる場合には、必ずウイルス定義ファイルの最新版を使用してください。
  ウイルス感染を防止するには、常に最新のウイルス定義ファイルが必要です。
- すでにインストールしてあるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトとは別のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているものをすべてアンインストールしてから行ってください。

参照 ウイルスバスターのセキュリティ機能について「ウイルスバスター」のヘルプ

3 「i-フィルター6.0」について

- 無料使用期間はご使用開始より90日間です。無料使用期間が過ぎますと、設定がすべて解除されフィルタリング機能がご使用できなくなります。無料使用期間中に有料にて正規サービスをお申し込みいただくことで、継続して使用することができます。

4 周辺機器／メモリについて

パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ホットインサーションに対応していない機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
  - ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
  - ・ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
  - ・極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
  - ・静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
  - ・本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
  - ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
  - ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

メモリの増設の操作にあたって

- 必ずパソコン本体の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントからはずし、電源コネクタからACアダプターのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。
- パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにゴミや油が付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。
- メモリは、コネクタに差し込む部分ではなく両端（丸く欠けている部分）を持つようにしてください。
- メモリを強く押したり、曲げたり、落としたりしないでください。
- スリープ／休止状態中にメモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スリープ／休止状態が無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

❑静電気について

- メモリは、精密な電子部品のため静電気によって回復不能な損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

5 バッテリーの使用／充電について

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントからはずし、電源コネクタからACアダプターのプラグを抜いてから作業を行ってください。スリープを実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。
  バッテリーを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。バッテリーを使い切る前に電源コードとACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。

6 技術基準適合について

- **瞬時電圧低下について**

  この装置は、一般社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

以下の項目のうち、ご購入のモデルの対象となる項目は、『パソコンで見るマニュアル 機器の取り扱い編 付録』に記載されています。

- **高調波対策について**
- **電波障害自主規制について**
- **「FCC information」について**
- **EU Declaration of Conformityについて**
- **レーザー安全基準について**
  レーザー製品の安全基準（EN60825-1）の"クラス１レーザー機器"である光学ドライブを搭載しています。

MEMO

リカバリーチェックシート

パソコンのリカバリーを行う際は、次の説明をお読みになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。

参照 各項目の詳細 2章の 5 ～ 8

1 リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

チェック欄	説 明
☑	ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
☑	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
☑	「2章 3 困ったときは」『パソコンで見るマニュアル 困ったときは編』をご覧になり、ほかのトラブル解消方法を探す
☑	「システムの復元」を実行して、パソコンを以前の状態に復元する

2 リカバリーする前にすること

チェック欄	説 明	
☑	①準備するもの	本書（「dynabookガイド（取扱説明書）」） リカバリーチェックシート（本シート）
☑		リカバリーメディア（＊メディアからリカバリーする場合のみ）
☑	②必要なデータのバックアップをとる ● ［ドキュメント］、［ピクチャー］、デスクトップ上などのデータ ● インターネットの［お気に入り］のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）	
☑	③本製品または外付けハードディスクドライブに録画したテレビ番組をダビング（コピー／ムーブ）する（＊TVチューナー搭載モデルのみ）	
☑	④アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア ● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報）（＊Office搭載モデルのみ）	
☑	⑤各種設定を確認する	ウイルスチェックソフトの設定など
☑		インターネット、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定
☑	⑥無線通信機能がONであるかを確認する	
☑	⑦周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす	

3 リカバリーの実行と、その後にすること

チェック欄	説 明
☑	①リカバリーを行う（＊リカバリー後は初期セットアップが必要）
☑	②周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
☑	③ウイルスチェックソフトの利用を開始する
☑	④インターネットを設定する
☑	⑤ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う、東芝サービスステーションでソフトウェアのアップデートを行う
☑	⑥メールを設定する
☑	⑦アプリケーションのインストールや設定を行う
☑	⑧バックアップをとったデータを復元する

Toshiba Places

dynabook　活用応援サイト
東芝プレイス

東芝プレイスは、dynabookをお使いのみなさまのための活用応援サイトです。

dynabookを幅広く活用していただくために、インターネットを使ってできるさまざまなことを用途別に分類した各種プレイス（場所）をご用意しています。

サポートプレイス
dynabookを使用していて困ったときに役立つ情報や、さまざまなサポートサービスを提供しています。

アクセサリープレイス
dynabookのオプション製品や使いかたが広がる周辺機器などを紹介しています。

アッププレイス
ダウンロードしてすぐに使える、便利なアプリケーションソフトを紹介しています。

ブックプレイス
話題の新刊やコミック、雑誌などの電子書籍を紹介しています。

ビデオプレイス
話題の映画やドラマ、アニメなどのビデオを紹介しています。

ゲームプレイス
気軽に楽しめるゲームを紹介しています。

ミュージックプレイス
高音質で楽しめるさまざまなジャンルの音楽を紹介しています。

ショッピングプレイス
ファッション、美容、グルメ、旅行など、生活に役立つサイトを紹介しています。

東芝プレイスはこちら
http://toshibaplaces.jp

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
　東芝PC あんしんサポートにお問い合わせください。

N51/T＊シリーズ、N41/T＊シリーズ、NZ51/T＊シリーズ、NZ41/T＊シリーズ

dynabook　dynabookガイド

平成27年9月11日　第1版発行　GM9039785210

発行　株式会社 東芝 パーソナル&クライアントソリューション社

〒135-8502 東京都江東区豊洲5-6-15（NBF豊洲ガーデンフロント）

© 2015 TOSHIBA CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED
無断複製および転載を禁ず

ローマ字／記号入力一覧表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI	SU	SE	SO
	SHI			
た	ち	つ	て	と
TA	TI	TU	TE	TO
	CHI	TSU		
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU	HE	HO
		FU		
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	ゐ		ゑ	を
WA	WI*		WE*	WO
ん				
NN				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	JI			
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA*	VI*	VU	VE*	VO*

＊：英字を入力し、SPACEキーを押してください。

■記号の入力

記号の中には読みを入力してSPACEキーを押すと変換できるものもあります。

～	※	々〃	①②ⅠⅡ	♪
から	こめ	おなじ	いち、に…	おんぷ
○◎●	↑↓←→	ヶ	㌔	ゅ
まる	やじるし	け	しめ	ふぁい
□■◇	【】《》『』	×	㎡	
しかく	かっこ	かける	へいほうめーとる	
☆★	〒	÷	(^.^)など各種顔文字	
ほし	ゆうびん	わる	かお	

うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
WHA	WHI		WHE	WHO
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ	くぃ		くぇ	くぉ
QA	QI		QE	QO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
JA		JU	JE	JO
すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
SWA	SWI	SWU	SWE	SWO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
FWA	FWI	FWU	FWE	FWO
FA	FI		FE	FO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO

●小さい文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA	LI	LU	LE	LO
XA	XI	XU	XE	XO
っ	ゃ	ゅ	ょ	
LTU	LYA	LYU	LYO	
XTU	XYA	XYU	XYO	

株式会社 **東芝** パーソナル&クライアントソリューション社

〒135-8502 東京都江東区豊洲5-6-15（NBF豊洲ガーデンフロント）

この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

GM9039785210
Printed in China